



**ピアノ・エレクトーン
発表会
&
絵おと芝居
「8月のウサギ～被服支廠物語～」**

森音楽教室の生徒さんによる音楽発表と絵おと芝居『8月のウサギ～被服支廠物語～』の公演を行います。

絵おと芝居とは、スクリーンに絵を投影し、その場で演奏したり朗読したりする新しい紙芝居です。今回は、大学生が作成したシナリオをもとに小学生が描いた絵を参考にして出来上がった紙芝居を上演します。ぜひ、お越しください。

日時 12月4日(日) 開演10:00～13:00 終了予定
開場 9:30

場所 佐伯区民文化センター 1階スタジオ

広島市佐伯区五日市中央6丁目1-10 Tel:082-921-7550

I部 10:00～12:00

ピアノ・エレクトーン発表会

指導 森恭子



入場無料

II部 12:00～13:00

絵おと芝居『8月のウサギ～被服支廠物語～』

朗読：ヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズ

歌と演奏：森音楽教室の皆さん

ゲスト：石橋裕子 柳谷圭子 山下京子

演劇指導：劇団テアトル(森井 順・福田 恵)

※本公演は公益財団法人マツダ財団と広島市立大学市大生
チャレンジ事業の助成を受けて実施します。

司会 西村宏子

主催 森音楽教室・ヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズ
協賛 一般社団法人 まち物語制作委員会

絵おと芝居 『8月のウサギ～被服支廠物語～』

ご挨拶

ヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズ
代表 佐藤 優

現在広島市南区には、100年以上も前に建てられた、大きな建物があります。戦前は、広島陸軍被服支廠と呼ばれた大日本帝国陸軍の施設で、軍服・軍靴・背囊などの製造・調達・貯蔵等を担い、多くの人が働いていました。

1945年8月6日、原子爆弾投下により鉄扉が歪むなどしたものの倒壊や焼失は免れました。そのため、臨時救護所として使用され、多くの被爆者がここを訪れ、息を引き取りました。

今回の絵おと芝居は、広島歴史をともに歩んできた、この広島陸軍被服支廠が舞台です。主人公は、ウサギの姉弟の「シロ」と「クロ」。ある日、シロとクロが広島陸軍被服支廠に迷い込み、そこで目の当たりにした戦争と原爆という悲惨な現実の物語です。

このシナリオをもとに子どもたちから絵を募集したところ70名以上の方から応募がありました。それらの作品の中から数点を選考し、選ばれた作品をもとに紙芝居作家のいくまさ鉄平さんに紙芝居を制作していただいたものを今回上演します。

*絵おと芝居

一般社団法人まち物語制作委員会が発案した新時代の紙芝居のことです。スクリーンに絵を投影し、その場で演奏や朗読を行うことによって、臨場感のある舞台を作りあげます。



選考会の様子

団体紹介

●ヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズ

ヒロシマから平和を発信するため立ち上げた広島市立大学の学生による団体です。絵おと芝居『8月のウサギ～広島陸軍被服支廠物語～』を制作、仁保公民館、小屋浦集会所、坂みみよう保育園、天満児童館、まちづくり四日市役場で朗読会を行ってきました。

<https://hiroshimaypb.wixsite.com/hiroshima-young-peace>



朗読会の様子

協賛

●一般社団法人まち物語制作委員会 代表 いくまさ鉄平

地域にある民話や昔話、偉人伝などのまち物語を紙芝居にすることで発信力をつけ、そこからアニメや絵本、土産物開発などにつなげていくことで、地域の活性化に貢献する活動をおこなっています。

問い合わせ先

●ヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズ Tel:090-5879-0681

Mail: hiroshimaypb@gmail.com

*絵おと芝居に関するお問い合わせはヒロシマ・ヤング・ピース・ビルダーズまでお願いいたします。